

令和元年6月29日（土） 13：30開場

※今月は第五土曜日に開催します。

名古屋大学 多元数理科学棟 509号室

【講演1】 14:00～15:00

木下裕介（名古屋大学大学院情報学研究科 博士後期課程）

「量子コンピュータに関する最近の発展について」

概要：分子や原子などといったミクロな対象の、直感に反する挙動を記述する理論として量子力学が発達しました。より根本的な物理原理によって計算機も記述すべきではないか、として考案されたのが量子コンピュータの理論です。

- ・そもそも計算とは数学的にどういうことか
- ・量子コンピュータがどのように現在のコンピュータを超えているか/超えていないか
- ・量子コンピュータを作ったと主張する企業が本当に作ったことを、量子的な操作が一切できない他人が確かめる方法などについて話したいと思います。

【講演2】 15:10～16:10

大沢健夫（名古屋大学 名誉教授）

「大数学者の名言ーポアンカレと岡潔」

概要：歴史に名を残す人物は特徴的な名言とともに記憶されていることが多いのですが、それらの言葉は教訓であると同時に歴史の名場面を表現しています。数学者の名言として最も有名なのはユークリッドの「幾何学に王道なし」でしょうが、現代数学の開拓者たちも数多くの名言を残しています。今回はその中からアンリ・ポアンカレ(1854-1912)と岡潔(1901-78)の言葉をいくつか選び、その背景および影響についてお話ししたいと思います。

参加無料・事前登録不要

—お問い合わせ—

名古屋大学

研究協力部社会連携課

TEL 052-747-6484